

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 401 市街地整備の推進

主担当課： 都市計画課

○施策の目指す姿

駅周辺を中心とする市街地整備が着実に進展し、土地の有効利用が進み、安心して快適な生活基盤がつくられています。

○施策の展開

- 1 名鉄新清洲駅周辺整備の推進

2 J R清洲駅周辺整備の推進

3 鉄道高架化整備の推進

4 春日地区の市街地整備の推進

5 地域に応じた市街地整備の検討

6 土地利用の見直し等の検討
- 7 地籍調査の実施

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・―

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	28.4% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	34.2% （令和5年度）	—	◎
(2)	新清洲駅北土地区画整理事業の推進	基盤整備等の進捗 （平成30年度）	換地処分以外の 事業完了 （令和5年度）	基盤整備等の進捗 （令和4年度）	基盤整備等の進捗 （令和5年度）	基盤整備等の進捗 （令和6年度）	▲
(3)	清洲駅前土地区画整理事業の推進	基盤整備等の進捗 （平成30年度）	事業の完了 （令和6年度）	基盤整備等の進捗 （令和4年度）	基盤整備等の進捗 （令和5年度）	基盤整備等の進捗 （令和6年度）	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	区画整理事業等に伴い、道路、排水路等及び宅地整備工事を実施し、市街地整備が進捗したため市民満足度が向上したと推察。
	(2)	仮線用地以外のエリアの整備は全て完了したが、仮線用地内のエリアの道路、排水路、公園等の整備は仮線除却後に行う。区画整理地区内においては、仮線工事に着手できる状態になっている。
	(3)	建物等移転補償を進め道水路築造工事を行い事業の進捗を図った。 しかし、事業工程の遅れにより、事業期間を3年延伸しているため、達成状況は目標値を下回っている。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

新清洲駅北土地区画整理区域内移転済戸数（戸）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	40	47	54	54	54
新清洲駅北土地区画整理区域内整備完了面積（㎡）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	3,500	3,500	29,473	34,665	42,875
鉄道仮線用地（新清洲駅北土地区画整理区域内）累計確保用地面積（㎡）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,453	1,453	1,561	1,561	1,561

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
新清洲駅北土地区画 整理費		274,112	177,280	区画整理事業の進捗率（全体事業費ベース・％）			移転補償の進捗率（件数ベース・％）		
		〔71.1〕	〔97.0〕	99	98	▲	98	98	○
事業の有効性の評価		本事業を施行することにより、新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図ることが出来る。 また、併せて実施する鉄道高架事業に必要なとなる鉄道の仮線、仮駅舎等にかかる用地を確保する必要がある。							
活動指標の 達成状況の分析	①	関係機関協議を密に行いながら基盤整備工事を進め、事業の進捗を図った。 関係機関協議により、工事内容に一部減工が生じ執行額が減少したため、進捗率が目標値を下回った。							
	②	昨年度より権利者と交渉を重ね、事業展開上、必要な時期に物件移転補償契約を締結し、支障物件を移転することができた。							
清洲駅前土地区画 整理費		172,152	114,416	区画整理事業の進捗率（全体事業費ベース・％）			移転補償の進捗率（件数ベース・％）		
		〔99.9〕	〔99.3〕	87	77	▲	89	97	○
事業の有効性の評価		都市計画マスタープランにおいて地域拠点としてJR清洲駅が位置付けされており、本事業を進めることにより「駅を中心とした安心・快適・魅力ある都市環境の形成」の実現に寄与することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	埋蔵文化財発掘調査と共に道路築造工事を並行して進め進捗を図った。 事業計画の変更により資金計画を増額変更したため、進捗率が目標率を下回っている。							
	②	計画していた難航権利者との交渉がスムーズに進み、進捗率が目標値を上回っている。							
新清洲駅付近鉄道 高架費		623,908	48,404	仮線用地（新清洲駅北土地区画整理事業区域内） の当該年度の確保面積（㎡）			仮線用地（新清洲駅北土地区画整理事業区域外） の当該年度の確保面積（㎡）		
		〔53.8〕	〔35.8〕	0.00	0.00	－	2,759.48	2,303.13	▲
事業の有効性の評価		五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架け替えに同調して、国道302号、県道名古屋祖父江線の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市が相互協力して実施する。また、本事業を進めることにより、交通渋滞・踏切事故・市街地の分断の解消や治水安全度の向上などに寄与することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	今年度に対象なし。							
	②	権利者との交渉を重ね、大半の権利者とは移転補償契約を締結することができた。 一部、交渉が難航し、契約に至られていない土地があるため、確保面積が目標地が下回っている。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

■ 新清洲駅北土地区画整理事業は、前年度に引き続き物件移転、基盤整備工事を実施し、公共施設及び宅地の整備を進めた。令和6年度末には仮線用地を除く全てのエリアを完成した（2号街区公園は鉄道高架工事完了までは仮設の駐輪場として暫定整備）。

清洲駅前土地区画整理事業は、前年度に引続き基盤整備工事を実施し、公共施設及び宅地の整備を進めてきた。今後も計画的に工事が発注し、事業計画通り組合が解散できるように引続き組合を支援していく。

新清洲駅付近鉄道高架事業は、仮線用地及び新清洲駅拡幅に伴う代替市道用地において、令和6年度に物件調査再算定業務及び土地評価業務を実施し、物件移転補償保及び用地買収を進めてきた。令和7年度も引き続き地権者との交渉を行い、全ての用地を確保できるよう進めるとともに、用地が確保できた区間においては仮側道の整備を進めていく。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 402 道路・橋梁の整備・適正管理の推進

主担当課： 土木課

○施策の目指す姿

国や県と連携した道路網の整備と、道路・橋梁の計画的な修繕が着実に進展し、道路利用者の利便の増進と安全確保が図られています。

○施策の展開

- 道路の適正な管理
- 道路の計画的な修繕
- 広域幹線道路・地域内連絡幹線道路の整備
- 通学路・生活道路の整備
- 橋梁の予防的・計画的な修繕
- 橋梁の整備

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	29.7% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	34.9% （令和5年度）	—	◎
(2)	市内の道路網が充実していると思う市民の割合	43.6% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	46.3% （令和5年度）	—	○
(3)	道路・橋梁の損傷や劣化に起因する事故発生件数	0件 （平成30年度）	0件 （令和6年度）	5件 （令和4年度）	3件 （令和5年度）	1件 （令和6年度）	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	市道を適正に管理し、計画的な修繕が実施できていることから、市民満足度が向上していると推察。
	(2)	市内道路網の整備を向上させるため、広域幹線道路や地域内連絡幹線道路について、国や県との連携を図り、都市計画事業を進めたことから基準値を大きく上回ることができたと推察。
	(3)	損傷箇所の早期発見、早期修繕による事故防止に努めたが、道路・橋梁の損傷や劣化に起因する事故発生件数は1件で目標値を上回ってしまった。事故発生を未然に防止するため、市内道路パトロールを強化していきたい。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

市道の道路実延長（km） ※清須市調べ（各年度3月31日）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	359.5	359.4	359.8	360.6	359.9
道路・橋梁の損傷や劣化に起因する 事故発生件数（件） ※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	0	0	5	3	1

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
道路維持補修費		175, 587	223, 553	市民通報による道路修繕数（件）			修繕計画に基づく道路舗装の修繕延長（m）		
		[97. 3]	[89. 1]						
事業の有効性の評価		点検に基づく道路舗装等の計画的な修繕や、危険箇所へのカーブミラー・区画線等の整備、道路側溝の修繕などにより、道路利用者の安全を確保することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	道路修繕員の迅速な対応により目標値を大幅に上回ることができた。							
	②	人件費や材料費の高騰により整備延長が未達成となった。							
市道西田中蓮池線等 整備費		55, 204	46, 897	市道西田中蓮池線等の整備延長（m）					
		[100. 0]	[95. 7]						
事業の有効性の評価		歩道が未整備であり、常に歩行者が危険に晒されているため、市道西田中蓮池線の水路を改修し歩道整備を行うことにより、道路利用者の安全と快適な交通環境を確保することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	予定していた工事延長を整備することができた。							
	②								
橋梁維持費		103, 499	141, 201	点検の実施橋梁数（橋）			修繕計画に基づく修繕橋梁数（橋）		
		[99. 2]	[100. 0]						
事業の有効性の評価		市内の全橋梁の点検を行い、点検に基づく計画的な修繕により、利用者の安全を確保することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	改修等により橋梁点検対象から除外した橋梁があり目標値を下回った。							
	②	修繕計画に基づき予定していた橋梁修繕を実施することができた。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 橋梁や道路舗装、横断歩道橋等について、点検を実施し、修繕計画を策定した上で計画的な修繕を進めるサイクルが構築されており、今後もこのサイクルによって利用者の安全確保に努めるとともに、整備コストの削減・平準化を図る。
- 点検に基づく修繕だけでは対応しきれない市道の損傷箇所も多数あることから、点検時に作成した市道の劣化状況図などを活用しながら、安全上対応が必要な箇所の修繕を優先的に実施する。なお、市道の穴埋めや側溝蓋の取替えなどの簡易な修繕は市の道路維持管理業務員が直接実施しており、早急な対応をすることで事故防止に努めている。また、スマレボきやすを活用して情報提供をいただいているが、より多くの市民に活用していただけるよう、広報等にて周知している。歩道の整備を含めた道路改良については、学校の通学路など、特に対応が必要な箇所を検討し、優先順位付けを行った上で、順次整備を実施する。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 403 上水道の安定供給・下水道の充実

主担当課： 上下水道課

○施策の目指す姿

水道管の耐震化が着実に進展するとともに、水道事業が適正に運営され、水道水が安定的に供給されています。
下水道の計画的な整備が着実に進展し、生活環境の向上と公共用水域の水質保全が図られています。

○施策の展開

- 健全な公営企業経営の推進
- 水の安定供給
- 水道管の耐震化整備
- 下水道（污水）の整備
- 各種助成の実施
- 流域下水道関連施設の管理・運営

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・―

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	31.1% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	36.0% （令和5年度）	—	◎
(2)	下水道普及率	28.4% （平成30年度末）	54.3% （令和6年度末）	32.5% （令和4年度末）	34.1% （令和5年度末）	34.7% （令和6年度末）	▲
(3)	水道管（清須市給水区域）の耐震化率	9.4% （平成30年度末）	12.0% （令和6年度末）	13.7% （令和4年度末）	14.5% （令和5年度末）	15.8% （令和6年度末）	◎
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	令和5年度における市民満足度調査における満足度では、36.0%が「満足・やや満足」と回答しており、前回調査より増加している。事業計画や取組の周知を進めたことで市民満足度が向上したと推察する。
	(2)	下水道整備は着実に進んでおり、下水道普及率は令和5年度から0.6%増加した。 下水道を利用することができる人口（供用開始区域内人口）のうち、下水道に接続した人口割合（水洗化率）については、7割程度となっているため今後も制度の周知に努めていく。。
	(3)	春日地区配水管路等耐震化計画に基づいて、平成28年度から耐震化整備を着実に実施した、また新規布設管を耐震管としたことや、区画整理組合からの受贈等により耐震化率が向上してる。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

下水道普及率（%） ※国土交通省調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	30.7	31.0	32.5	34.1	34.7
清須市給水区域における水道の耐震管延長（m） ※清須市調べ（各年3月31日）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	6,834	8,732	9,210	9,755	10,972

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
配水設備工事費 （水道事業会計）		35,398	33,778	耐震水道管の整備延長（m）					
		[214.5]	[103.2]	180	138	▲			
事業の有効性の評価		清須市給水区域における計画的な水道管の耐震化整備を行うことにより、災害時の安定的な水道水の供給を確保することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	ネギヤ保育園までの耐震管を布設するにあたり、引込箇所を変更したため施工延長は短くなったが、より効率的に耐震化工事を進めることができた。							
	②								
汚水管渠整備費 （下水道事業会計）		735,419	348,297	下水道の整備面積（ha）			下水道処理人口普及率（％）		
		[78.4]	[44.3]	15.5	5.8	▲	37.0	69.4	－
事業の有効性の評価		下水道の面整備を着実に進め、下水道普及率を向上させることにより、悪臭や蚊などの害虫発生が抑制され、市民の生活環境の向上とともに、公共用水域の水質を保全することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	工事を翌年度に繰越したことや資材費や労務単価の上昇、社会資本整備総合交付金の交付率による工事の縮減により目標値に到達しなかった。							
	②	目標値37.0％は整備率であり、令和6年度末時点での実際の普及率（水洗化率）は69.4％である。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 清須市給水区域における配水管の耐震化を進めるため、引き続き春日地区配水管路等耐震化計画に基づき、重要給水施設の配水管の耐震化整備を実施していく。
- 近年の節水傾向や今後見込まれる人口の減少により、一世帯あたりの料金収入が減少し、下水道経営が圧迫させることが懸念される。下水道事業のサービスを将来にわたって安定的に供給するため、企業会計化により明確となる、損益情報やストック情報を的確に把握し、経営の効率化・健全化を推進する必要がある。
- 令和6年度に改定した下水道事業中期経営戦略に基づき、適切な進捗管理や実績と計画との乖離検証を行うことで、経営基盤強化や、財政マネジメントの向上を図る。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 404 水辺空間と緑地の充実

主担当課： 都市計画課

○施策の目指す姿

市民協働による河川環境美化や都市緑化が進展し、市民が水と緑を感じ、ふれあうことができる空間が形成されています。

○施策の展開

- 1 公園・緑地の整備・管理

2 遊具施設等の整備

3 水辺の散策路の管理

4 河川環境美化活動への支援

5 かわまちづくり事業の推進

6 清須アダプト・プログラムの実施
- 7 都市緑化への支援

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・―

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	30.0% (平成30年度)	↗ (令和5年度)	—	25.0% (令和5年度)	—	▲
(2)	市内に良好な水辺空間が保たれていると思う市民の割合	35.8% (平成30年度)	↗ (令和5年度)	—	35.7% (令和5年度)	—	▲
(3)	都市公園の面積	259,714㎡ (平成30年度末)	264,000㎡ (令和6年度末)	261,727㎡ (令和4年度末)	261,727㎡ (令和5年度末)	261,727㎡ (令和6年度末)	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	コロナ禍が明け、制限の緩和に伴い屋外活動も増え、公園利用者が前回調査時より増加していると想定されるが、人件費の上昇等に伴う維持管理コストの増加により、都市公園等の十分な管理が困難であったこともあり満足度の達成が出来なかったと推察する。
	(2)	河川美化活動・美化ボランティアによる継続的な清掃活動もあり、良好な水辺環境の維持が図られている。
	(3)	J R清洲駅前土地区画整理事業区域内の新規公園工事完了が令和7年度以降となり、都市公園の面積が目標達成とならなかった。関係各所と連携し、早期工事完了を目指す。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

遊具改築更新を実施した公園数・施設数（公園・基） ※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	13・19	4・12	9・17	8・14	5・8
都市公園面積（㎡）※清須市調べ 〈各年3月31日〉	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	260,723	261,727	261,727	261,727	261,727

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（%）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
都市公園費		169,024 〔99.8〕	133,489 〔99.7〕	遊具施設等の更新改築実施公園数（公園）					
				7	5	▲			
	事業の有効性の評価	公園長寿命化計画に基づいて、計画的な遊具の更新を進めるとともに、公園の適正な管理を行うことにより、市民が安心して利用することができる憩いの場を提供することができる。また、公園の整備により、市民の余暇活動に寄与することができる。							
	活動指標の 達成状況の分析	①	公園長寿命化計画における年度ごとの遊具の更新改築実施公園数は、遊具の安全度等により更新時期が前後する。計画終期の令和13年度までに全都市公園63のうち51の更新を予定している。						
		②							
河川環境美化推進 協議会補助金		1,500 〔100.0〕	1,500 〔100.0〕	河川環境美化デーの参加者数（人）					
				5,400	4,039	▲			
	事業の有効性の評価	河川美化活動を実施することにより、庄内川・新川・五条川の環境保全が保持される。							
	活動指標の 達成状況の分析	①	現在は自治会、ボーイスカウト、ボランティア団体、市内の民間企業や高校、一部の子ども会等が協力団体として参加しているが、昨年から大きく参加者が増えることはなく、例年と同水準となった。						
		②							
アダプト・プログラム費		1,465 〔98.7〕	1,578 〔97.4〕	アダプト・プログラムの実施団体数（団体）			アダプト・プログラムの実施面積（㎡）		
				24	23	▲	1,398	1,394	▲
	事業の有効性の評価	市民協働の一手法として、市から花苗や球根等の提供を受けて、市民が協力して道路・公園等の清掃や植栽等に関わることであり、市民の環境美化に対する意識を高めるとともに、地域の中での市民同士の交流を促進することができる。							
	活動指標の 達成状況の分析	①	後継者の不足等により活動を中止する団体があったため、未達成となった。今後も新規団体の獲得のため、広報紙や市民協働事業を通したPRIに努める。						
		②	実施団体数が減少したことに伴い、実施面積も減少した。新規団体の獲得のため、広報紙や市民協働事業を通したPRを継続する。						
都市緑化推進事業 補助金		4,901 〔98.0〕	4,399 〔88.0〕	市民参加緑づくり事業に対する補助件数（件）			緑の街並み推進事業に対する補助件数（件）		
				1	3	◎	1	0	▲
	事業の有効性の評価	都市緑化推進事業補助金の事業実施により、市民参加での緑化の推進、民有地の緑化の推進を図ることができ、身近な緑の質を高めることができる。							
	活動指標の 達成状況の分析	①	市民参加緑づくり事業は、地域での事業が周知されてきている。						
		②	ホームページ、広報誌等に掲載しているが、希望者がいなかったため未達成となった。						

III 施策の評価と今後の方向性

- 平成23年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金を活用して都市公園の遊具改築更新を実施している。現計画は令和4年度から令和13年度までの10年間とし、引き続き本計画に基づき、都市公園の遊具改築更新を実施する。すべての都市公園等の樹木調査を行い、樹木数等を適正化し十分な管理を図る。
- 例年、5月と9月に実施している河川環境美化活動について、近年の気候の変化を踏まえ、熱中症のおそれがないよう開催時期を見直すことで、多くの市民等に積極的な参加を呼びかける。
- アダプトプログラムについては、活動団体の高齢化・後継者不足等により活動を中止する団体が増えているため、広報紙や市民協働事業を通したPRを継続して実施することにより、活動団体の増加を図っていく。
- 都市緑化推進事業補助金については、事業実施する市民を広報誌等で募集するとともに、市関係各所においても周知を図る。
-

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 405 公共交通の充実

主担当課： 企画政策課

○施策の目指す姿

「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上しています。

○施策の展開

- コミュニティバスの運行
- 各種イベント等を通じた利用促進
- 利用環境整備の推進
- ルート・ダイヤ等の見直し
- 福祉有償運送制度の運用

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	30.4% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	－	21.7% （令和5年度）	－	▲
(2)	「あしがるバス」を利用したことがある市民の割合	16.0% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	－	27.9% （令和5年度）	－	◎
(3)	「あしがるバス」を知っている市民の割合	97.9% （平成30年度）	→ （令和5年度）	－	98.2% （令和5年度）	－	○
(4)	「あしがるバス」の1便あたりの利用者数	5.6人 （平成30年度）	6.5人 （令和6年度）	4.8人 （令和4年度）	5.3人 （令和5年度）	5.4人 （令和6年度）	▲
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	平成30年に実施した大規模なルート・ダイヤ改正から6年が経過し、「あしがるバス」が市民の生活に定着しつつあり、更なる利便性向上に期待を持つ者が増えたことで満足度が低下したと推察する。
	(2)	これまで継続して実施してきた一日無料デーや高齢者運転免許証自主返納推進事業により、新規利用者の獲得に繋がり、基準値を大きく上回ることができた。
	(3)	「あしがるバス」の認知度向上に向けて実施した、小学生を対象としたバス乗り方教室やさくらまつりでのPRブース出展について、「あしがるバス」を多くの方に知っていただくきっかけとなり、目標を達成することができた。
	(4)	新型コロナウイルス感染症の流行による外出控えにより、一時的に2割以上落ち込んだ利用者数であったが、コロナ禍前の水準にまで回復したものの未達成となった。しかしながら、令和6年度の利用者数は過去最多であり、増加傾向は続いている。
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

「あしがるバス」の利用者数（人） ※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	64,954	70,263	76,035	86,587	87,931
高齢者運転免許証自主返納事業の無料乗車券交付人数（人）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	141	142	95	93	97

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
コミュニティバス 運行費		80,111	89,703	あしがるバスの利用者数（人）			利用促進イベントの実施回数（回）		
		[96.4]	[94.4]	101,100	87,931	▲	3	3	○
事業の有効性の評価		「あしがるバス」を運行することにより、高齢者や主婦層等の日中における市内移動の利便性が向上している。							
活動指標の 達成状況の分析	①	未達成であるが、昨年度に引き続き過去最多の利用者数を更新し、なおも増加傾向が続いている。							
	②	予定していた利用促進イベントは、全て実施することができ、一日無料デーやさくらまつりでのブース出展では、過去最多の参加者数を記録し、大きな効果があったと推察する。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 「清須市地域公共交通計画」に基づき、利用促進活動を継続して実施したことにより、「あしがるバス」の利用者数は増加傾向を維持している。今後は、令和7年度を始期とする「第2次清須市地域公共交通計画」に基づき、更なる利用者増加に向けて利用促進活動を継続して実施していくとともに、鉄道事業者とも連携しながら鉄道駅にバスの案内表示を設置することで、利便性の向上を図る。
- 「あしがるバス」の次期ルート・ダイヤ改正に向けて、市民向けと利用者向けの2種類のアンケート調査を実施し、あしがるバスに関する意見や要望、市民の移動実態及び利用者ニーズ等を把握し、現状の課題や対応策を整理する。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 406 ごみの減量化と資源化の推進

主担当課： 生活環境課

○施策の目指す姿

市民・事業者・行政が一体となったごみの減量化と資源化の取組がより一層浸透し、循環型社会が構築されています。

○施策の展開

- 1 ごみの適正な処理
- 2 ごみ減量化・再資源化の啓発
- 3 市民に分かりやすいごみの分別情報等の発言
- 4 資源回収活動への支援
- 5 ごみ減量化活動への支援
- 6 資源回収施設の管理・運営
- 7 し尿の適正な処理

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	38.0% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	－	31.9% (令和5年度)	－	▲
(2)	市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量	613 g (平成29年度)	529 g (令和6年度)	604 g (令和3年度)	589 g (令和4年度)	561 g (令和5年度)	▲
(3)	リサイクル率（ごみの資源化量／ごみの排出量）	15.1% (平成29年度)	→ (令和6年度)	12.6% (令和3年度)	12.2% (令和4年度)	12.1% (令和5年度)	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	「満足」「やや満足」と評価する割合が基準値より6.1ポイント減少した。ごみの多様化や電池類等のごみ分別方法の複雑化、カラスや猫によるごみ集積場の散乱により、ごみの分別・出し方が分かりにくいという方や、集積所の周辺環境の改善を求める方が増えたことで満足度が低下したと推察する。
	(2)	令和5年度と比較して、可燃ごみで約4.7%、不燃ごみで約6.3%減少している。一方、プラスチック容器包装、粗大ごみについては、排出量に大きな変化はなかった。物価が高騰しているため、消費が落ち込み、廃棄量が減少しているものの、目標値には届かず未達成となった。しかしながら、令和6年度のごみ排出量は過去最少であり、減少傾向は続いている。
	(3)	資源物においても排出量が約4.3%減少している。鉄くずを除く資源物全てにおいて、回収量が減少している。古紙については、民間事業者が設置する資源回収ステーションの増設により、行政による回収量は減少傾向にある。市としての資源物の回収量の減少が、ごみ全体の排出量の減少を上回った結果「リサイクル率（ごみの資源化量/ごみの排出量）」は減少となっている。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量（g）※一般廃棄物処理事業実態調査	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	613	616	604	589	561
リサイクル率（ごみの資源化量／ごみの排出量）※一般廃棄物処理事業実態調査	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	13.6	13.2	12.6	12.2	12.1

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
ごみ収集処理費		940,786 [96.3]	960,704 [98.4]	家庭ごみ（可燃・不燃・プラスチック・粗大）の収集量（t）			ごみ分別アプリ「さんあーる」のアクセス件数（件）		
				12,951	12,211	○	69,672	38,732	▲
事業の有効性の評価		一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民の利便性向上や処理コスト削減に努め、ごみの収集、運搬及び処分を適正に行うことにより、生活環境の保全を図ることができる。また、啓発活動の実施や、市民に分かりやすいごみの分別市民1人1日あたりの生活系ごみ排出情報等を発信することにより、ごみの分別の徹底等、市民や事業者のごみ減量化・再資源化に対する意識を高めることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	R6目標値を達成。引き続きごみ減量化と資源化に取り組む。							
	②	ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」のアクセス件数は前年比約+12.9%であり、配信開始後最高値となったものの、目標値には遠く及ばなかった。							
資源回収費		83,377 [94.4]	83,326 [94.6]	資源の収集量（t）			資源回収活動団体の資源回収量（t）		
				1,053	1,040	▲	425	401	▲
事業の有効性の評価		市が運営する資源回収ステーション等において収集した資源の分別、運搬及び処分を行うとともに、資源の分別収集に協力するブロックや、資源回収活動を行う団体に対して支援を行うことにより、ごみ減量化・再資源化を推進することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	民間の資源回収ステーションの増加などに伴い、収集量は減少した。							
	②	民間の資源回収ステーションの増加などに伴い、収集量は減少した。資源回収活動を行うブロック・団体に対して、報奨金交付要綱に基づいて引き続き報奨金を交付する。							
ごみ減量化推進費		404 [95.3]	448 [97.3]	環境学習出前講座の開催回数（回）			生ごみ処理機等購入に対する補助件数（件）		
				3	4	◎	109	79	▲
事業の有効性の評価		市民が参加するリサイクル活動の実施により、市民や事業者のごみ減量化・再資源化に対する意識を高めることができる。また、生ごみ処理機等の購入に係る費用の一部を補助することにより、生ごみの自家処理による減量化及び生活環境の向上を図ることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	春日小学校、新川小学校、桃栄小学校及び古城小学校の4校に対して、ごみの分別体験、環境問題に関する講座を実施した。							
	②	HP、広報等で生ごみ処理機等購入に対する補助制度の周知を行ったものの、申し込み数が伸びず、未達成となった。							
五条広域事務組合清掃処理負担金		286,755 [100.0]	253,571 [100.0]	し尿・浄化槽汚泥の搬入量（t）					
				29,896	30,825	▲			
事業の有効性の評価		し尿を適切に処理することにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の保持に寄与する。							
活動指標の 達成状況の分析	①	し尿・浄化槽汚泥の搬入量はR6目標値は達成しなかったが、組合を組織するあま市と連携を図りながら、汚泥再生センターの効果的な管理運営に努めた。							
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 「清須市環境ガイドブック」配布をはじめとして、様々な方面からごみの減量化・再資源化を促進するための啓発活動を実施した。ごみ分別アプリについては、アクセス件数が堅調に増加している。今後も使いやすさの向上に取り組んでいく。
- 令和3年度より、宅配便サービスを活用したパソコン等の無料回収業者との協定を開始しており、令和4年度にはペットボトルの水平リサイクルについて飲料メーカーとの協定を行った。今後も資源物の回収方法や回収後の再資源化方法について、民間事業者との協力も視野に入れ、更なる資源化の推進を図っていく。また、令和7年3月改訂の清須市一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和8年度からプラスチック資源の収集を行うことで更なるごみの減量化を目指す。
- 小学校での出前講座は、子どもたちにごみ分別の重要性を理解させる良い機会となり、持続可能な社会を築くための意識を育むことが期待される。教育委員会と連携し、継続的な取り組みを行う。
- 生ごみ処理機購入補助制度は、家庭での生ごみ減少が期待され、制度の周知と利用促進を図る。
- 五条広域事務組合では規約で定める負担金を支出し、あま市と連携を図り事務を共同処理することにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の保持を継続する。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 407 環境保全の推進

主担当課： 生活環境課

○施策の目指す姿

環境の保全や公害の未然防止が図られ、市民にとって良好な生活環境が保たれています。

○施策の展開

- 1 地域環境の保全
- 2 公害調査等の実施
- 3 浄化槽清掃への支援
- 4 住宅用地球温暖化対策設備の導入への支援
- 5 環境負荷低減対策の実施
- 6 墓地の管理・運営

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	26.9% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	19.3% (令和5年度)	—	▲
(2)	環境負荷の低減を心がけている市民の割合	63.6% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	56.1% (令和5年度)	—	▲
(3)	市内の公害発生件数	0件 (平成30年度)	0件 (令和6年度)	0件 (令和4年度)	0件 (令和5年度)	0件 (令和6年度)	○
(4)	市の行政事務に係る温室効果ガス総排出量	735,851Kg-CO2 (平成27年度)	637,000Kg-CO2 (令和6年度)	649,998Kg-CO2 (令和4年度)	736,292Kg-CO2 (令和5年度)	463,715Kg-CO2 (令和6年度)	◎
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	例年と比較し、気温が高く、住宅や工場等の窓を開放する機会が増えたため、臭気などを感じ取りやすく不快に感じるが増えたことも原因のひとつであると考える。苦情件数については、昨年度と比較しても急激な増減などは見受けられない。苦情については、現地調査を行い、随時対応している。悪臭の一部については、臭気発生施設のあるあま市に状況を報告し、改善依頼をその都度行っている。
	(2)	希望する小学校4校（春日・新川・桃栄・古城）に環境学習出前講座を行っており、適切りサイクルについての啓発を行っているものの、基準値から下落してしまっているため、広く市民の関心が得られるよう、啓発事業を続けていく必要がある。
	(3)	法令に基づく環境測定や現地調査により、引き続き公害の未然に防止を図る。
	(4)	CO2排出係数が低い電力会社と契約することにより、CO2排出量を削減することができた。
	(5)	
	(6)	

＜達成度指標の関連データ＞

太陽光発電システムの補助件数 （件）※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	16	17	21	26	19
太陽光発電システムの設置容量〔うち補助対象容量〕（KW） ※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	79.37 [53.77]	78.73 [65.49]	116.3 [77.8]	141.55 [77.6]	109.72 [62.24]

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
浄化槽清掃費補助金		72,913	73,242	浄化槽清掃に対する補助件数（件）					
		[98.9]	[98.0]	7,707	8,088	○			
事業の有効性の評価		下水道未供用地区において浄化槽清掃費の補助をすることにより、定期的な清掃を促進し、生活雑排水による河川の水質汚濁を軽減することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	公共下水道事業の進捗状況との連携により、市民へ周知することができた。							
	②								
住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金		4,584	4,532	住宅用太陽光発電システムを含む設備の一体的導入に対する補助件数（件）			家庭用エネルギー管理システム等の単独設置に対する補助件数（件）		
		[100.0]	[98.8]	19	19	○	61	67	○
事業の有効性の評価		住宅用地球温暖化対策設備設の設置者に対して補助金を交付することにより、市民のクリーンエネルギーの利用を促進し、地球温暖化防止対策に向けて、環境保全意識の高揚を図ることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	ホームページ及び広報での啓発等により、新築及び既存住宅への設備設置の促進を図ることができた。							
	②	同上							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 浄化槽清掃補助金については、公共下水道の供用開始区域の拡大に伴い、今後緩やかに申請件数の減少が見込まれる。清掃費の補助により、引き続き浄化槽の定期的な清掃を促進し、生活排水による河川の水質汚濁の軽減を図る。
- 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金については、市民のクリーンエネルギーの利用促進と地球温暖化防止に向けて、愛知県との協調補助により、引き続き環境に配慮した設備の設置促進を図る。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 408 斎苑施設の整備

主担当課： 生活環境課

○施策の目指す姿

斎苑施設が整備され、適切に施設の運営が行われています。

○施策の展開

- 斎苑施設の整備・運営
- 斎苑対策周辺環境改善事業の実施

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	15.5% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	30.5% (令和5年度)	—	◎
(2)	都市計画決定手続きの推進	都市計画決定 (平成30年度)	—	—	—	—	○
(3)	斎苑施設整備の推進	造成工事の実施 (平成30年度)	供用開始 (令和3年度)	—	—	—	○
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	斎苑施設の適切な運営と周辺環境の整備により市民満足度の向上が図られている。
	(2)	平成30年度に清須市都市計画マスタープランを策定し、計画通り整備されている。
	(3)	事業完了済み。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
五条広域事務組合斎苑施設負担金		99,265	147,068	斎苑施設での年間火葬件数（件）					
		[98.1]	[97.7]						
事業の有効性の評価		五条広域事務組合が推進する斎苑整備・運営に関して、当該組合規約で定める応分の負担金を支出することにより、効率的に斎苑施設を整備・運営することができる							
活動指標の 達成状況の分析	①	高齢化の進展に伴う火葬需要の増加に対し、適切な対応が図られている。							
	②								
斎苑施設周辺環境改善費		86,949	65,870	市道野田町舟付1号線等の整備延長（m）			市道野田町1号線等の整備延長（m）		
		[99.8]	[92.9]						
事業の有効性の評価		地元から要望のあった環境改善事業を実施することにより、斎苑周辺地域の環境改善を図ることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	斎苑施設周辺の住民との調整により、工法等を変更することとなり、整備延長が進んだ。住民の生活環境向上に向けて、周辺道路の整備が図られている。							
	②	同上							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 高齢化社会の進展により火葬需要は当面の間増加する見込み。
- 五条広域事務組合及びあま市との広域連携により引き続き斎園施設の適切な運営を図る。